

表1 岡山県への質問

(大雨特別警報を知らせるメールが迷惑メールに振り分けられたことについて)

Q1	質問	偽メールを自動的に検証するSPFとDMARCを知っているか
	回答	はい
Q2	質問	18年7月、大雨特別警報を知らせるメールが3000人に対し配信できなくなり、延べ192万通が最大2時間遅延した事実をどう受け止めているか
	回答	安定稼働に努めていく
Q3	質問	岡山県豪雨災害検証委員会は「放流情報については、防災情報メールの登録者にメール配信しているが、放流予告情報についてもメール配信できるようにシステム改修を行う」としているが、正規の防災情報メールが迷惑メールに仕分けされた問題には一切触れられていないのはなぜか
	回答	コメントする立場にない
Q4	質問	警報メールが届かなかったことが、死者68人、行方不明者3人、負傷者177人の被害者を出した一つの大きな原因であると認識しているか
	回答	県は、大雨特別警報を住民に周知する責務を有する市町村に通知した

(出所) 編集部による岡山県へのアンケート調査